アジアクリエイト株式会社

卒業課題（リクルート用パンフレット作成）

上岡研究室
D13050 竹腰　広隆

アジアクリエイト株式会社とは

平成元年の設立以来「昨日と違う明日の創造」を基本方針に掲げプラント装置の設計施工管理や産業用自動機械の設計・製作を行い、お客様の要望にお答えしている。

労働災害を減らす取り組みとして、現場で起きる労働災害を疑似体験できる装置の開発や、安全体感装置を用いた教育研修も行っており、机上の安全教育のみでは伝えきれない災害の怖さや危険を体感することで作業者が危険予知能力を身につけ、労働災害を未然に防ぐことができるとして、お客様から高い評価を得ている。

課題目的

リクルート目的のツールの制作
　→説明会向けのパンフレット

工程

第一回　10月31日　13:00～　初回訪問

第二回　12月2日　　13:00～　企画プレゼンテーション

第三回　12月22日　10:00～　取材、撮影

第四回　1月31日　　承認

コンセプト

・プラント装置の設計、産業用自動機械の設計製作で日本の
工場の活性化を図っている事を知って欲しい

・学生が知りえない安全体感という業界に興味を持って欲しい
そして安全体感を牽引してきたアジアクリエイトを知って欲しい

手法

パンフレットを手にとって貰うために表紙に気になるワードを散りばめて週刊誌風のデザインに仕上げました。

中身は部門別で技術グループ、総務課、業務サービス課と分けて対談形式で構成しました。

広告ページでは就職学生が興味を持つインターンシップの案内と安全体感装置の動画「安全体感病棟」への誘導広告を作成しました。

パンフレット表紙

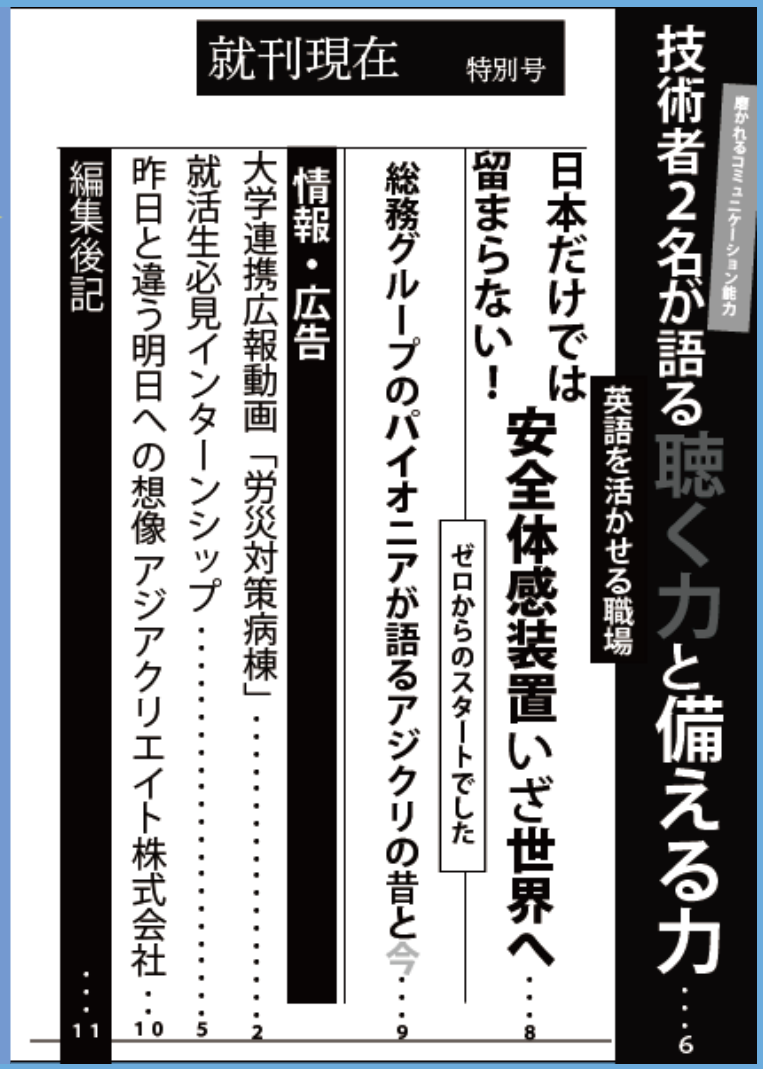
・表紙は就職活動中の学生がターゲットなので就活の就を用いて週刊現代のパロディー、「就刊現在」にしました。就職活動中の学生が気になるワードを散りばめました。

・裏表紙は雑誌の裏面広告を参考に安全体感研修センターの広告を掲載しました

P2～3

・P2，3ページは大学連携広報活動で制作した、「安全体感病棟」安全体感装置に興味を持ってもらうために広告として掲載しました。

P4～5



・P5はインターンシップの募集広告を作成しました。

・P4目次、週間誌のパロディーを行いました。右から順にカテゴリー分けを行い制作しました。

P6～7

磨かれるコミュニケーション能力

設計技術者 2名が語る 聴く力と備え る力の必要性

技術3グループ
田邉裕之

生産技術グループ
松下晴紀

「段取り8割仕事2割と現場ではよく言います」そう話すのは、生産技術グループの松下氏と技術3グループの田邊氏。施工を行う上で最も重要な所は設計をする前の段取りにあると生産技術グループの松下氏は言う。

「生産技術グループでは現場に入って設備の組み立てを行うんですが、お客様の要望で当日に別部品も取り付けて欲しいと言われる事があるんです。そう言う時に段取り8割仕事2割と言う言葉を痛感します。事前にしっかりと打ち合わせをして段取りを組む事と、さらにイレギュラーに備える事が大切ですね。」

現場で起きるイレギュラーにも対応できる、備える力の重要性を強調した。

田邉氏も段取りが重要だと語る。

「私たちの仕事は『新しい生産ラインを作りたい。』や『この機械をさらに良くしたい』という声から始まります。そこから打ち合わせが始まるんですが設計する上で打ち合わせが最も重要で、お客様と現場で働く工員とで意見が異なる事が多いんです。なので私はお客様が本当に欲している物は何かをしっかりと突き止めることが重要だと思っています。」設計する能力と同時にコミュニケーション能力も磨かれていると語る。

・P7,8は技術者2名が語った「聴く力と備える力」について対談形式で作成。

P8～9

日本だけでは留まらない！「安全体感装置」いざ世界へ！

「一年間オーストラリアに留学してたんですよ」

そう話すのは、入社1年目業務サービス課の鈴木氏。「現在アジアクリエイトで製造されている安全体感装置は日本国内でも多くの方にご利用頂いており、おかげさまで安全体感装置は累計出荷数が700台を突破しました。」

しかし海外では労災に対する認識や文化が異なる事も認め、これについても言及した。「以前アメリカや韓国では安全体感装置の引き合いを頂いた際に、労災や安全対策について意見をかわす事ができましたが、欧州など他の国では指差呼称を行わない事も事実です。安全体感装置を用いて安全対策を世界に広げる架け橋になりたいです。」世界に飛躍する意欲をのぞかせた。

業務サービス課
鈴木　大登

就刊現在　8

アジクリの昔と今

アジクリ総務グループのパイオニアが語る

総務グループ　主任
権田葉子

「ゼロからのスタートでした。」

勤続20年のアジアクリエイト総務のパイオニアである権田氏が当時を振り返る。

「私が入社した時は総務グループが存在しませんでしたし、利益が出ているかもよく分からないような状態でした。」

そこで財務管理を勉強し、ゼロからのスタート、でも苦しい事ばかりでは無かったと語る。

「私達総務グループが行っている仕事って、会社を影から支える縁の下の力持ちだと思うんです。技術者の方と一致団結して成果を上げられた時は嬉しいですね。」

そして現在では大手企業との取引も多く、設計設備と安全体感装置の案件も増え、海外企業との取引も盛んになり、総務グループも人員が増え、より一層活気が出たと嬉しそうに話った。

9　就刊現在

・P9は総務グループの初期を知る権田様にアジアクリエイトの今と昔を語って頂き対談形式でまとめました。

・P8は安全体感装置が日本のみならず、世界でも注目を集めている事を対談形式でまとめました。

P10～11

大同大学情報学部
メディアデザイン学科
上岡研究室所属 T腰・H隆

就刊現在
編集者・T腰の
編集後記

こんにちは、今回はアジアクリエイト株式会社様のリクルート用ツールを作成させて頂けることになり、4名の社員様方にインタビューをさせて頂く事ができました。

私は技術者と言われる方は皆無口で頑固な職人気質な方が多いのではないかと思っていましたが、いざ取材を始めて見れば、皆様気さくな方々で、インタビューでは学生が知る事のできない職場での出来事などを、赤裸々に語ってくださいました。

またインタビューの中で、「自分のしたい事を考えてみる」という事を仰られた場面がありました。これは学生に向けて一言お願いします。という質問に対するお答えです。

アジアクリエイトの方々は設計がしたい、英語を生かして社会に貢献したい。といった明確な意志を持った方が多い印象を受けました。強い意志を持つ事で自分の目標を明確にする事が大切なのだと感じました。

就職活動をされる方も今一度自分のしたい事を考えてみてください。

Always One Step Ahead !
アジアクリエイト株式会社
http://asia-create.jp
私たちと心を共にできる仲間を待っています
TEL(0533)-84-5581

・P11は、自身が記者としてアジアクリエイト株式会社様に取材に行った感想を編集後記としてまとめました。

・P10は、従業員様の募集要項を作成しました。

感想

私は今回アジアクリエイト株式会社様のリクルートパンフレット制作に携わって、
ものづくりの大変さを改めて実感しました。自分一人が制作して満足するのではなくお相手がいて初めて成り立つ課題なので、お相手から意見を聞きだす事の重要さと難しさを実感する事ができました。
長期間に渡った制作活動の中で直接企業の方々とコミュニケーションを取ることで、社会人になる前にとても貴重な意見や体験をすることができました。
パンフレット制作では制作直前まで就職活動を行っていた事もあり就職活動を体験した人間ならではの意見をパンフレットに反映する事ができました。
「週刊誌風」パンフレットという事もあり表紙のデザインが一番苦労しました。文字組みや一つ一つの文がどの要素と関わっているのか、どのような意味を持っているのか、週刊誌をあまり読んだことが無い自分には分からない事だらけでした。それでも修正を続ける事で自分の作品が良いものになったと思います。

Special Thanks

業務サービス課：佐藤　陽平

業務サービス課：鈴木　大登

総務グループ：権田　葉子

生産技術グループ：松下　晴記

技術3グループ：田邉　裕之

撮影：北住　侑雅

（敬称略）